

2022 春季生活闘争・妥結情報

2022. 3. 18 — 第 4 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

2022 年春季生活闘争 第 1 回回答集計結果について

連合本部は、2022 年春季生活闘争につき、3 月 18 日（金）午前 10 時時点で取りまとめた回答集計について、次のとおり発表した。

- 平均賃金方式で回答を引き出した 776 組合の加重平均は 6,581 円・2.14%（昨年同時期比 1,018 円増・0.33 ポイント増）となった。組合の「人への投資」と月例賃金にこだわった要求と粘り強い交渉の結果であると評価する。賃上げ分が明確にわかる 459 組合の賃上げ分は昨年同時期比マイナスになっているが、これは組合員数が大幅に増加した影響と考えられる。なお、300 人未満の中小組合のうち賃上げ分が明確にわかる 179 組合の賃上げ分は 1,746 円・0.63%（同 316 円増・0.12 ポイント増）で、額・率とも全体を上回った。額で中小組合が全体を上回るのは、賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した 2015 闘争以降、初めてである。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給 26.25 円（同 1.64 円増）・月給 4,680 円（同 296 円減）となった。時給の引上げ率（概算）は 2.56% で、一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。

連合北海道の 2022 年春季生活闘争は、第 1 先行組合の集中回答ゾーンのヤマ場を終えて、回答集計を行った。

妥結報告組合は、14 組合・17,593 人（昨年同時期 14 組合・11,230 人）となり、昨年と比べ、集計組合数は同数であったが、対象組合人数が増えた。（3 月 18 日 12 時現在）

回答引き出し組合が少数であることや、集計組合が昨年と同一でないため単純には比較できないものの、月例賃金の加重平均は、妥結額 5,853 円・2.09%（昨年同時期比▲1,090 円・▲0.48 ポイント）となり、昨年同時期を下回った。300 人以上では、昨年同時期に比べ▲1,133 円、300 人未満でも▲1,026 円の大幅な減少となった。

来週からは、中堅・中小、そして地場組合の交渉がヤマ場を迎える。連合北海道は、構成組織及び地域協議会と緊密に連携して、処遇改善に全力で取り組んでいく。

【組合規模別賃上げ状況 2022 年 3 月 18 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込)	昨年比
300 人未満	6 組合	716 人	1,606 円(*****)	2,632 円(*****)	▲1,026 円(*****)
300 人以上	8 組合	16,877 人	5,976 円(2.09%)	7,109 円(2.57%)	▲1,133 円(0.48%)
計	14 組合	17,593 人	5,853 円(2.09%)	6,943 円(2.57%)	▲1,090 円(0.48%)

* 300 人未満の妥結率について、集計可能なデータがなかったため記載をしております。



◎2022 年春季生活闘争北海道集計へのエントリー未報告の産別・地区ユニオンは、至急報告をお願いします。

◎要求・回答・妥結情報を連合北海道 2022 年春季生活闘争本部までお知らせ下さい。
担当：山田・勝又・小野寺・渡辺・（TEL:011-210-0050 FAX:011-272-2255）